

令和6年度SDG s 未来都市等の選定結果について

1 概要

SDG s は、「誰一人として取り残さない」社会の実現に向けた2030年を年限とする国際社会共通の目標である。本事業は、内閣府が地方公共団体によるSDG s の達成に向けた取り組みの提案を公募し、「SDG s 未来都市」および、その中でも特に先導的な取り組みを「自治体SDG s モデル事業」として選定するものである。

このたび、品川区は、令和6年度「SDG s 未来都市」および「自治体SDG s モデル事業」に選定され、ダブル選定が決定した。

2 提案内容

(1) SDG s 未来都市 全体計画 (資料1)

テーマ「ウェルビーイングの視点から

～子どもとともに成長する新時代のSDG s しながわ～

(2) 自治体SDG s モデル事業 (資料2)

テーマ「子どもとともに創るウェルビーイングシティしながわ」

3 選定までのスケジュール (実績)

令和6年2月 内閣府へ提案応募

2月下旬～4月 書面評価

4月17日 ヒアリング

・自治体SDG s モデル事業について森澤区長がプレゼンテーション

4月下旬 総合評価

5月21日 選定結果公表

5月23日 SDG s 未来都市選定証授与式

・内閣府にて自見地方創生担当大臣から選定証を授与

・選定都市を代表して森澤区長が所信表明

4 選定後のスケジュール (予定)

令和6年6～8月 SDG s 未来都市計画策定

令和7年 8月頃 自治体SDG s 推進評価・調査検討会による進捗評価

※3年間毎年進捗評価を実施

「ウェルビーイングの視点から～子どもとともに成長する新時代のSDGsしながわ～」をテーマに、豊かで持続可能な品川区の実現をめざし、SDGs 未来都市の全体計画について提案したところ、内閣府より「SDGs 未来都市」に選定された。

全体計画

2030年のあるべき姿

次世代の担い手と産業が育ち多様な連携により新しい生活シーンを描くまち

●子どもや親世代をはじめとした区全体のウェルビーイング向上を図ることとし、官民連携により次世代の担い手の育成を図るとともに持続的に生活し活躍できる社会をつくる

官学民連携でしながわの未来を創る

自律的好循環の形成に向けた取組

【SDGs推進体制の強化】

●しながわSDGs共創推進プラットフォーム（新規）

【産学官連携の推進】

●SDGs子ども会議（新規）
●区独自のSDGs宣言制度（新規）
●（仮称）品川区ラボ（新規）

【自律に向けた資金調達】

●ガバメントクラウドファンディングの活用
●ウェルビーイング・SDGs推進ファンドの創設（新規）

方針・将来像

【経済】産業のエコシステムをデザイン

●品川区の産業を活性化させ官民連携を促進することで人々の暮らしが豊かになる
→五反田パレーを中心に先進的なデジタル技術を有するスタートアップ企業が集積しており、これらの企業の更なる成長とともに官民連携を強化する。

【社会】次世代の担い手をデザイン

●子どもや親世代を中心にウェルビーイングの向上を図り、心豊かで創造性あふれる人々を育てるとともに、誰もが活躍できる地域社会を創る。
→持続可能な社会の実現には、次世代の担い手が不可欠である。区は、子育て施策をはじめ、区民が彩り豊かに自分らしい生活を送れるよう、「人」に焦点を当てた取組を推進する。

【環境】環境にやさしい社会をデザイン

●区内企業や区民と協力し、ゼロカーボンシティをめざすと同時に、環境にやさしい社会に向けた取組を推進する。

方向性

具体的取組（青：モデル事業）

新サービス・イノベーション創出

●産学連携情報交流会の開催 ●産学連携開発支援 ●SHINAGAWAイノベーションフォーラムの開催
●品川産業支援交流施設(SHIP)における多様な主体の連携・交流による新たなビジネスの創出支援

ビジネス人材の地育地活

●「スチューデント・シティ」による経済活動体験 ●将来設計学習「ファイナンス・パーク」の実施
●区内企業と連携したプログラミング教室の開催
●モンゴル高専と区内企業のIT分野等における人材交流（新規）

起業するなら品川区

●五反田バレースタートアップエコシステムの構築（ITスタートアップ支援）（拡充）
●西大井創業支援センターにおける創業者支援（学生向け創業支援、アントレプレナー教育の実施（新規））
●武蔵小山創業支援センターにおける創業者支援（女性向け創業支援）（拡充）

子育て環境の整備

●多様な一時助かりサービスの実施（オアシスルーム、品川版未就園児の新たな預かりモデル（拡充））
●子育て世帯の交流機会の充実（子育て応援プログラム、ポップアップルーム、子育て世帯コミュニティ構築）
●在宅子育て支援の充実（（仮称）八潮在宅子育て支援施設整備）（新規）

子どもの安全安心と育成

●地域との連携協働による品川地域未来塾の実施 ●適切な親子関係形成支援（新規）
●発達障害児向け教育の実施（拡充） ●医療的ケア児受け入れ支援（拡充） ●ヤングケアラー支援（拡充）
●いじめの根絶の取組実施（予防プログラム（新規）、教育相談室、HEARTS、アイシグナル、被害者支援（新規）） ●犯罪から子どもたちをまもる防犯対策の強化（まもるっち）
●子どもとともに成長する社会づくり（子どものアイデアを活かしたまちづくり）

誰もが自分らしくいられる居場所づくり

●子ども・若者の居場所づくり（拠点整備（新規）・フリースペース）
●不登校児童生徒の学習支援、居場所づくり（ICT教育支援・マイスクール）
●地域の子供の居場所である子ども食堂の支援、地域と子どもたちのつながりづくり
●ジェンダー平等の推進 ●多様性理解・多文化共生の推進（新規）

心身の健全な成長

●しながわ健康ポイント事業の実施 ●自殺対策の推進

まちの快適性・利便性向上

●デマンド交通やグリーンスローモビリティの実証（新規）
●ウェルビーイングを満たす施設の充実

環境教育・啓発活動の促進

●環境交流施設（エコルとごし）による体験型の環境学習機会の提供（拡充）
●デジタルコンテンツを活用した環境教育の実施（拡充）
●SHINAGAWA“もったいない”プロジェクトによる食品ロス削減

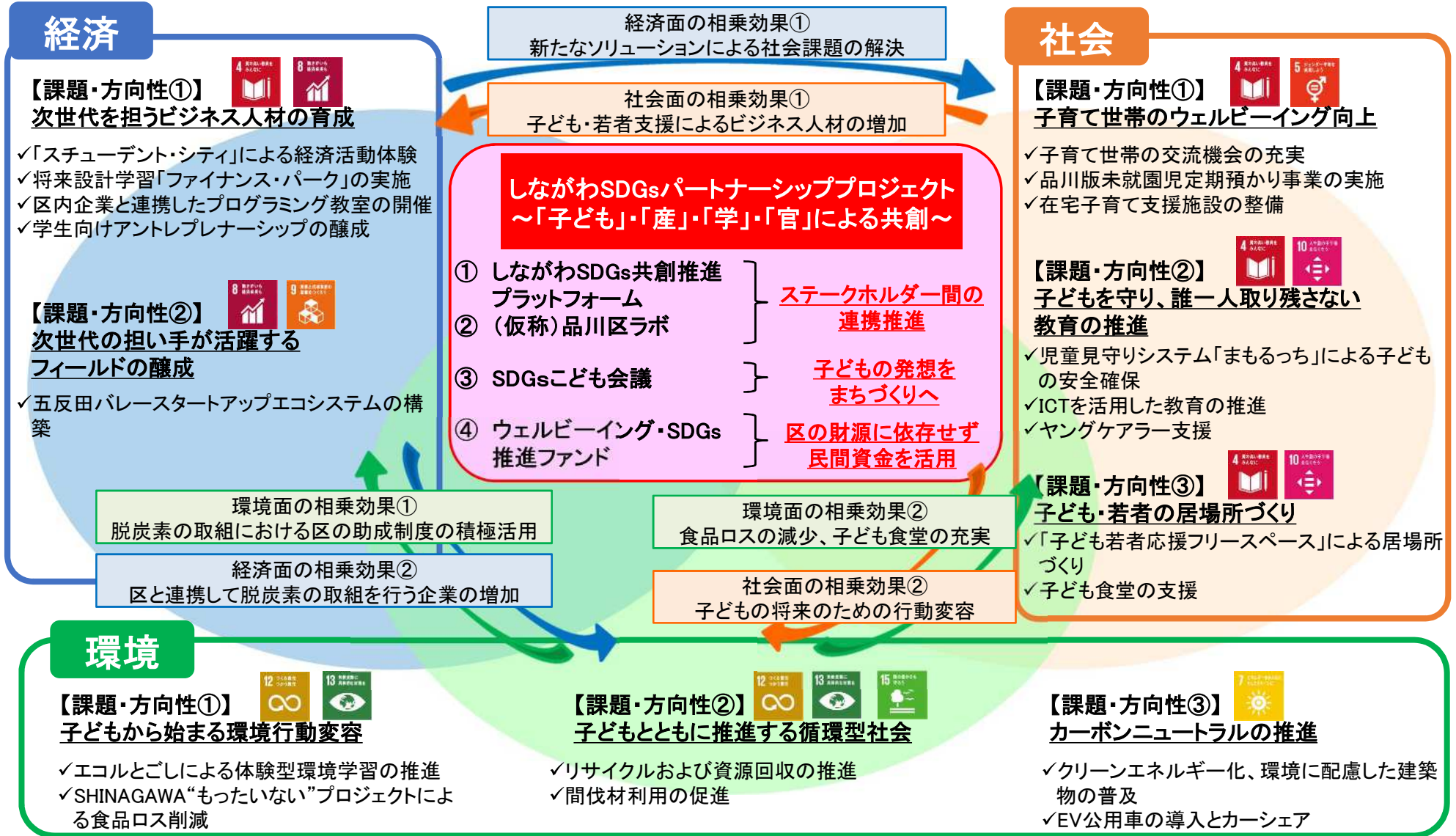
カーボンニュートラルの推進

●温室効果ガス排出量ゼロ（ゼロカーボン）に向けた取り組みの推進
●クリーンエネルギー化、環境に配慮した建築物の普及 ●環境インパクト・ボンドによるカーボンニュートラルの推進（新規） ●中小企業および個人事業主の脱炭素経営推進（新規）
●エネルギーマネジメントシステムによる電力需給バランスの最適化（新規）
●次世代自動車普及促進（EV公用車の導入（新規））

循環型社会の推進

●リサイクル及び資源回収の推進、プラスチックごみ削減（拡充） ●マイボトルの利用促進（新規）
●間伐材利用の促進 ●商店街や地域と連携した取組の実施

「子どもとともに創るウェルビーイングシティしながわ」をテーマに、子どもを産み育てる環境の充実や、次世代の育成・活躍フィールドの醸成、子どもの柔軟な発想のまちづくりへの反映など、常識に捉われない新時代の品川区をめざし提案したところ、内閣府より「自治体SDGsモデル事業」にも選定された。(W選定)



- ・子どもの柔軟な発想を社会課題の解決に活用する仕組みと、民間企業のソリューションと社会課題を結びつけるためのプラットフォームを構築する。
- ・民間企業がより自発的にSDGsに資する取組を推進していくためのインセンティブとなる制度を設計し、**自律的好循環の形成**を図る。

しながわSDGsパートナーシッププロジェクト ～「子ども」・「産」・「学」・「官」による共創～

◆ 3つの特徴



多様なステークホルダーとの連携

- 関係団体、事業者、区民との連携を推進するほか、区の未来を担う子どもの柔軟な発想力を取り入れる。



マッチング促進による連携事業創出

- ニーズ（地域課題）とシーズ（サービス、ソリューション）の積極的なマッチングを図る。



持続可能な資金調達スキーム

- 区の財源だけに依存しない、民間資金を活用する資金調達フレームを構築する。

多様かつ柔軟な意見の吸い上げ、新たなソリューションの活用、民間資金の積極的活用により自律的好循環を形成

全体スキーム

